

「床のプロ」の技

西東京市から 全国に展開する Smart Resin



⊕株式会社 Smart Resin⊕

代表取締役 竹田 恵人（たけだ よしひと）

住所：西東京市柳沢 3-3-2
TEL：042-459-9500

Smart Resin 検索

🔧🔧

塗床は様々な特殊材料を適切に選択し、バランスよく使用することが求められる特殊技術だ。まず、下地となる床の状況を正確に把握し、ダイヤモンドの刃をもつ研磨機で下地処理を行う。その後、顧客の多様な用途に合わせ、樹脂などの材料を組み合わせて施工していく。大型機械を置く工場では高い耐久性、ホテルや食品工場の厨房では120℃以上に耐える耐熱

特殊材料を自在に操る 熟練の技

塗床（ぬりゆか）という特殊施工で全国の商業施設を足元から支えているのが、株式会社 Smart Resin（スマートレジン）だ。社名にもあるレジンは（樹脂）を含む特殊材料を駆使し、高度な機能性を持つ床づくりを実現している。代表取締役の竹田恵人氏は、18歳からこの業界に従事して30歳で独立。その後法人化も経て、通算で24年の経験を有するベテランの職人だ。その間、技術力を高め、確かな技術で信頼を得てきた。コロナ禍においてもスーパーマーケットの厨房区画などの受注が増加するなど、今まで受注が途切れなかったことがほとんどないという。「24年間に及ぶ実績から自分の仕事に信頼をいただいている。」と竹田社長が語る通り、長年の経験が技術の真髄となっている。今の時代では考えられないが、昼間と夜の現場が重なり1週間家に帰れなかったこともあるという、ハードな下積み時代を乗り越えたことも強い精神力や自信につながった。

苦勞を乗り越え、
信頼を築いた24年の道のり

塗床（ぬりゆか）という特殊施工で全国の商業施設を足元から支えているのが、株式会社 Smart Resin（スマートレジン）だ。社名にもあるレジンは（樹脂）を含む特殊材料を駆使し、高度な機能性を持つ床づくりを実現している。代表取締役の竹田恵人氏は、18歳からこの業界に従事して30歳で独立。その後法人化も経て、通算で24年の経験を有するベテランの職人だ。その間、技術力を高め、確かな技術で信頼を得てきた。コロナ禍においてもスーパーマーケットの厨房区画などの受注が増加するなど、今まで受注が途切れなかったことがほとんどないという。「24年間に及ぶ実績から自分の仕事に信頼をいただいている。」と竹田社長が語る通り、長年の経験が技術の真髄となっている。今の時代では考えられないが、昼間と夜の現場が重なり1週間家に帰れなかったこともあるという、ハードな下積み時代を乗り越えたことも強い精神力や自信につながった。



「そのような経験をぜひ、若い人たちと一緒に積み上げていきたい、一緒に働いていきたい。」と、次世代の「匠」を目指す若者たちへ力強いメッセージを送っている。

建設業界は、職人の高齢化による人手不足に加え、工事書類の整備や顔認証管理などのコンプライアンス強化に直面している。このような環境変化の中、竹田社長は「若い世代を取り込んでいくためには、就業環境や指導方法を整備し、業界のイメージを変えることが急務である。」と語る。その上で、この仕事の最大の魅力は「達成感」であると強調している。自身が手掛けた駅のホームや8000㎡を超える大型工場の施工を終えた時、「ここは自分が塗ったんだ。」という大きなやりがいを感じられたという。

性が要求されるなど、求められる床の機能は様々である。これらの用途に合わせた材料を適切に組み合わせることが必要で、塗装後に熱を加えて固める工法もあるなど複雑なため、判断を誤ると材料が固まらなくなるケースもあり、高い技術力が必要だ。

達成感を分かち合い、
次世代の「匠」を育てたい